

9 受験生の過活動膀胱に対する 漢方処方を試み

メドック健康クリニック 泌尿器科

岡村 武彦

受験生は精神的に緊張が高まり、受験当日のみならず、受験が近づいてくるといろいろな不安から多くの症状を訴えることが多く認められる。このような場合、自身で精神的にコントロールできなくなり、家族に相談することもあり、とりわけ母親が相談相手となるのが一般的である。

受験時の頻尿が不安であることを主訴に母親と受診した2例を経験した。2症例とも一時的な過活動膀胱と診断し、加味帰脾湯を頓用で処方した。

症例1：19歳男性。既往歴・薬アレルギー無し。受験時に頻尿になることが心配で何か薬の処方を希望して2024年12月母親と一緒に受診。やややせ形で、問診上は暑がりでも寒がりでもなく、外見上は落ち着いた感じ。普段から昼間排尿回数は10回程度で、夜間は起きない。尿意切迫は時々感じるが、失禁はないと。問診の最中に母親も口をはさむ。検尿所見：異常なし。基本的に病気ではなく、受験時にどうしてもトイレに行かなければならないときは行けるはずであることも説明した。しかしながら母親が切に薬を希望されるため、加味帰脾湯を1週間分処方し、帰宅していただいた。頓用でもいいこと、あくまで予防薬であることを説明した。当然のことながらその後受診無し。

症例2：18歳男性。既往歴・薬アレルギー無し。1か月ほど前からベッドに入った後トイレが気になる、テストの時にもトイレが気になる。受験時に頻尿になることが心配で何か薬を処方してほしいと2024年12月母親と一緒に受診。やせ形で、問診上は暑がりでも寒がりでもなく、外見上はやはり落ち着いた感じ。問診の最中に母親が患者のごとく口をはさむ。検尿所見：異常なし。症例1と同様な説明を行い、加味帰脾湯を1週間分処方し、帰宅していただいた。この症例もその後受診無し。

加味帰脾湯は14種類の生薬成分からなり、不安や緊張を訴える患者に対して抗不安作用や精神安定作用が期待できる。以前、過活動膀胱の患者に加味帰脾湯を処方し、良好な効果が得られたこともあり、受験生に対して母親の不安も考慮して加味帰脾湯を頓用で処方した。